

今後の計画推進に向けて

－「施設整備」と「施設運営」の「連続性」を保障する仕組みづくりへ

第7回四万十町文化的施設検討委員会

2019年3月16日（土）

於・四万十町役場

アカデミック・リソース・ガイド株式会社（ARG）

学問を生かす社会へ



最近の新図書館（弊社事例）

－沖縄県、名取市（宮城県）、須賀川市（福島県）

学問を生かす社会へ

[参考] ARG図書館プロジェクト



沖縄県立図書館
2018年度開館：12/15 (金)
専門アドバイザー

[参考] ARG図書館プロジェクト



名取市図書館
2018年度開館：12/19 (水)
専門アドバイザリー

[参考] ARG図書館プロジェクト



須賀川市民交流センター

2018年度開館：1/11 (金)

総合コンサルタント



今後の計画推進に向けて

- － 「施設整備」と「施設運営」の「連続性」を保障する仕組み

学問を生かす社会へ

1年後に実現できているとうれしいことは？ －基本計画の策定完了に向けて

▶ 参考事例#1：西ノ島町コミュニティ図書館基本計画



第2章 コミュニティ図書館の基本方針

2-1. コミュニティ図書館のコンセプトについて

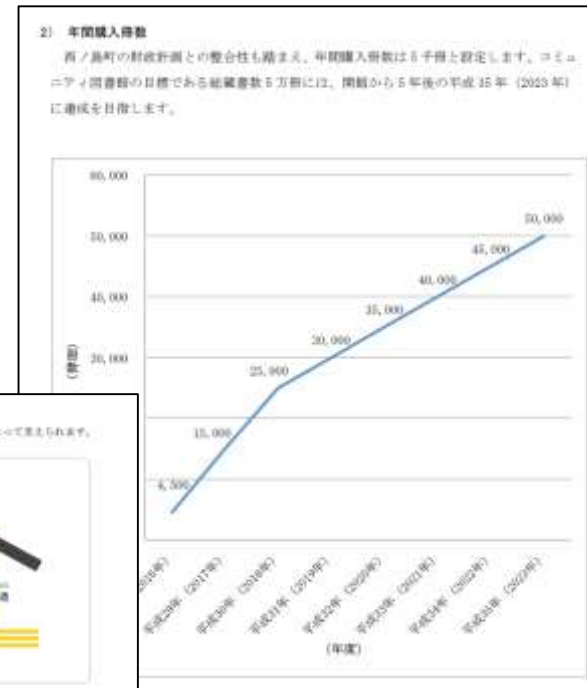
メインコンセプト
西ノ島町民の暮らしを支えるまちの居間「西ノ島みんなの家」

2つの柱

1. 情報・知恵 Information
2. 想像・創造 Imagination

4つのテーマ

1. 西ノ島町の日常を支える図書館
2. コミュニティの拠点となる図書館
3. 西ノ島町の中と外をつなぐ図書館
4. みんなが参加する図書館づくり



1年後に実現できているとうれしいことは？ - 基本計画の策定完了に向けて

▶ 参考事例#2：智頭町図書館整備基本計画

(1) 基本コンセプト

「智恵と和の広がる図書館 ～であい、つながり、まなびあう～」

智頭町には、豊かな文化や伝統、誇れる歴史があり、そこには智頭の人たちが知識や情報を活用してきた知恵があります。図書館で、その「智頭の人たちの知恵」と「和」が広がり、多くの人たちがつながる、学びあう図書館でありたいとするものです。

(3) 智頭図書館のありたい姿

智頭町は、道項で掲げた図書館の役割を基としつつ、智頭町の良さを活かしながら、まち全体における暮らしを支える拠点として、次に掲げる図書館サービスを提供するよう努めます。

誰もが知識・情報にふれることができる



- ・利用しやすい図書館とするため住民に対し、利用をサポートするサービスやシステムを考える
- ・まちづくりの拠点として、住民の多様な活動ができる場となる

子どもの未来を創造する



- ・智頭町の未来を担う子どもたちの可能性が図書館での出会いにより広がる
- ・智頭町の子どもたちがよく利用する学校図書館を支援する

地域の暮らしを支える



- ・智頭町の基幹産業である林業、農業をはじめ、暮らしのあらゆる場面でヒートとなる
- ・土曜日、日曜日にも利用できる公共施設として、気軽に相談できる窓口となる

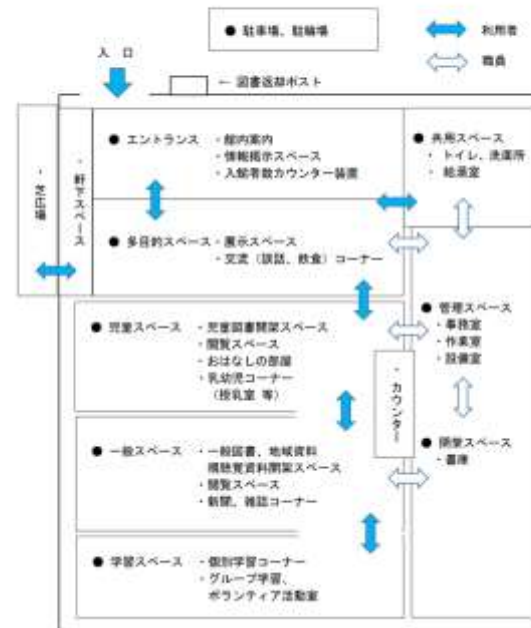
世代を超えた住民の居場所を確保する



- ・子どもから大人まで様々な思いを抱えた住民の居場所となる
- ・縁起のよい智頭町になじんだ、ゆっくり、ゆったりと、時を過ごす場となる

(4) 施設の構成イメージ

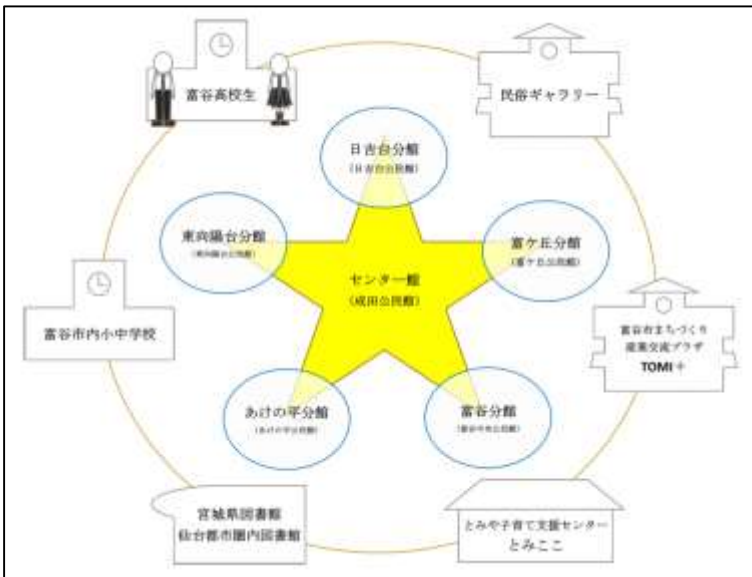
施設内の各構想は、利用者にとって使いやすく、職員にとって働きやすいように構成されること図書館の機能を十分に発揮することになり、住民にとって利用しやすく、親しみのある、心地の良い図書館となります。



学問を生かす社会へ

1年後に実現できているとうれしいことは？ －基本計画の策定完了に向けて

▶ 参考事例#3：（仮称）富谷市民図書館整備基本計画（案）



4.5.2 分館の規模

基本的に各分館の規模は、各公民館の図書室とその他の部屋の状況に応じて転用する部分を決定することとしている。具体的には、下記のとおりである。（蔵書数、開架図書数は、4.2.2 参照）

	面積	転用する公民館の部屋
センター館	1,700 m ²	成田公民館 1階 図書室+プレイルーム+新築図書館
富谷分館	287 m ²	富谷中央公民館 1階 図書室+2階 児童クラブ室（世代間交流室）
富ヶ丘分館	245 m ²	富ヶ丘公民館 1階 学習室+プレイルーム+2階 図書室
東向陽台分館	270 m ²	東向陽台公民館 1階 図書室+世代間交流室+プレイルーム
あけの平分館	190 m ²	あけの平公民館 2階 図書室+学習室+プレイルーム
日吉台分館	235 m ²	日吉台公民館 1階 図書室+学習室+プレイルーム
計	2,927 m ²	

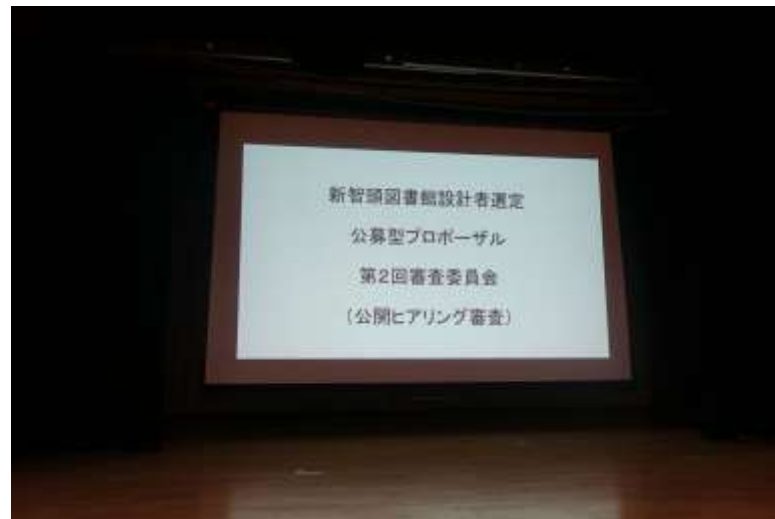
5.6 職員体制

図書館開館準備室に、専門性の高い司書を公募により平成31年4月から配置し、図書館整備、計画的な蔵書購入において人的充実を図っていく。

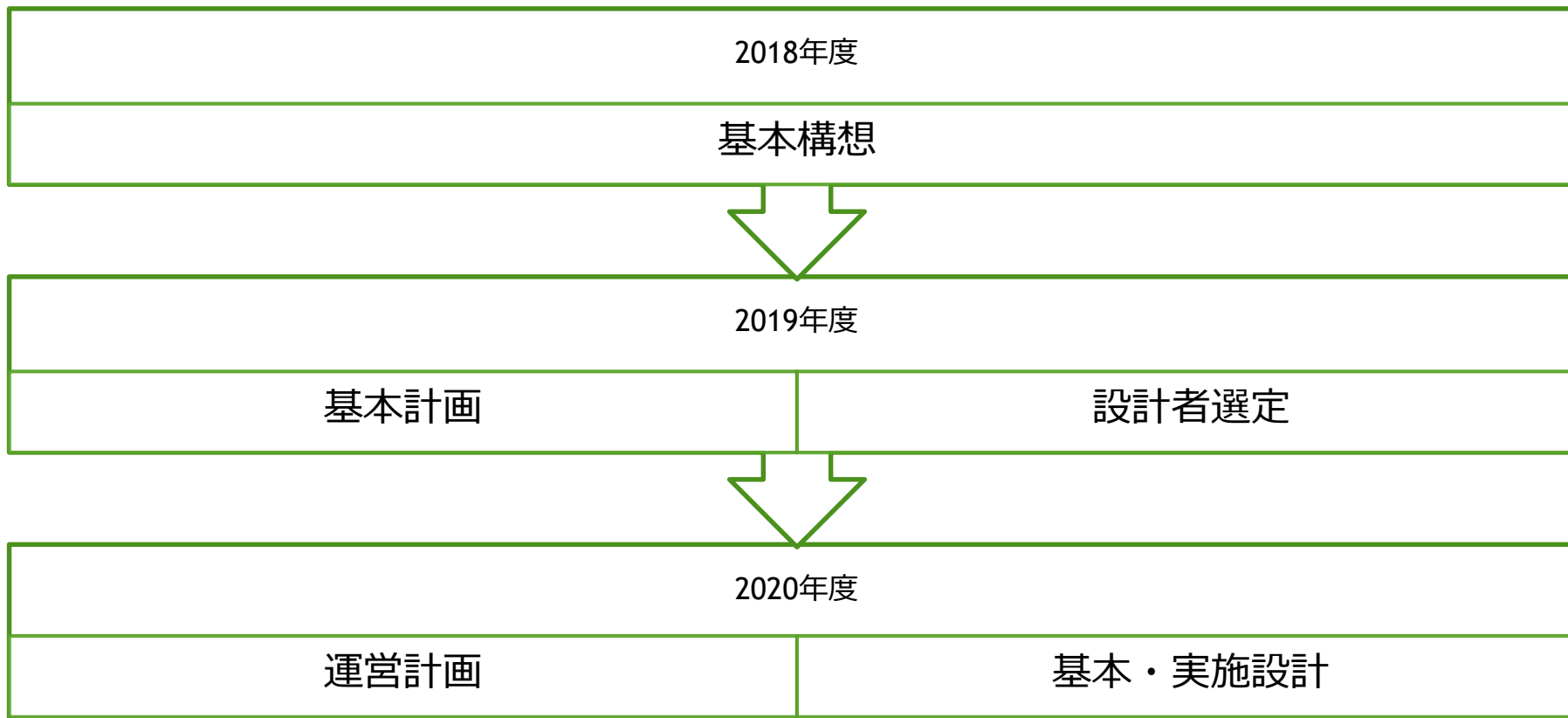
市民協働の図書館、利用者のニーズを達成することを目標とし、必要な司書などの職員を配置する。

1年後に実現できているとうれしいことは？ －基本計画を踏まえた設計事業者の選定完了

- ▶ 「見た目」（ハコ）、「知名度」（ヒト）に左右されない設計者の選定
- ▶ 提案ではなく、この先、四万十町民と共に歩むチームを選ぶ
- ▶ 維持管理費用（ライフサイクルコスト）への理解の必要性
 - ▶ 整備費の最大5倍程度



計画実現に向けて欠かせない「連続性」の観点 －「施設整備」と「施設運営」の「連続性」保障



計画実現に向けて欠かせない「連続性」の観点 －「施設整備」と「施設運営」の「連続性」保障

文化的施設の実現と成功

計画

設計

運営

一貫性・整合性

計画実現に向けて欠かせない「連続性」の観点 －「施設整備」と「施設運営」の「連続性」保障

基本計画の迅速な策定

基本計画から続けての設計者選定

さらなる町民参画

最後に — 来年度に向けて

智頭図書館 未来予想図

「 智恵と和の広がる図書館 」
～ であい、つながり、まなびあう ～

知識・情報 子どもの未来
地元暮らし 住民の居場所

「みんなで考える私たちの新しい図書館」住民ワークショップより

～ はじめに ～

この「新築図書館未来予想図」は、住居が新しい図書館をどのように活用するかに沿ったストーリーを住民ワークショップの参加者で考え、新築図書館のテーマとその他の興味ある分野を、図書館サービス目標に打ち合わせ、

親子の作業は、毎週学校給食の先生たちから、そして図書館スタッフは、住民ワークショップの参加者である村居の皆さんが担当しました。新しい図書館でのストーリーが生まれます。

「みんなで考える私たちの新しい図書館」

2023年10月10日 第1回住民ワークショップ

「新しい図書館」

～ 新築図書館前夜ストーリー 1 ～		～ 新築図書館開館ストーリー 2 ～	
テーマ	誰もが知識・情報にふれることが出来る	テーマ	誰もが知識・情報にふれることが出来る
対象者	小学生、親子	対象者	小学生（1年生）、高学年の親子、地域の住民
経緯	公立のAは、図書館で働いている。自分も読書の好きで興味があり、気楽によく読む。	経緯	場所、土地、設備がAが住んでいるところ、ネットでの考えが受け入れられ、施設が毎週開館するようになった。
ストーリー	<p>新築館のつぎに、図書館の拡張計画が発表された。その中で、内装の模様や設備が決められた。自分も新しい館が建つことで新しい空間に立ちたい。新築館のつぎに自分も働けるのがいい、図書館で働きたい。</p> <p>新築館のつぎに、図書館の拡張計画が発表された。その中で、内装の模様や設備が決められた。自分も新しい館が建つことで新しい空間に立ちたい。新築館のつぎに自分も働けるのがいい、図書館で働きたい。</p> <p>小学校の図書で内装を決定して、通社さんの仕事で自分も働くことに決めた。自分も働けるのがいい、図書館で働きたい。</p> <p>大人になっても図書館で働きたい。</p>	<p>新築館のつぎに、図書館の拡張計画が発表された。その中で、内装の模様や設備が決められた。自分も新しい館が建つことで新しい空間に立ちたい。新築館のつぎに自分も働けるのがいい、図書館で働きたい。</p> <p>新築館のつぎに、図書館の拡張計画が発表された。その中で、内装の模様や設備が決められた。自分も新しい館が建つことで新しい空間に立ちたい。新築館のつぎに自分も働けるのがいい、図書館で働きたい。</p> <p>小学校の図書で内装を決定して、通社さんの仕事で自分も働くことに決めた。自分も働けるのがいい、図書館で働きたい。</p> <p>大人になっても図書館で働きたい。</p>	

学問を生かす社会へ